

# もみじ

-広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報-



## 一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

### 本号内容

1. クライミングスクール (4/16 三倉岳) 報告
2. 県S C 競技会 (国体予選 4/15~16 C E R O) 報告
3. 県民ハイキング再開 (6/11 牛田山) の予告
4. 寄稿『高尾山・岩谷観音に岩小屋を作る』
5. 岳連短信 (寄贈御礼、5~6月の行事予定、R5 年度定時総会終了)

### 1. クライミングスクール報告

(指導部長 森本 覚)

第1回 4/16(日)

山域: 三倉岳 炊事棟

人数: 22名 (スタッフ含)

前日の雨、午後からの雷雨の予報をうけ、場所を天応から三倉岳に変更しました。見晴し岩スラブ、早春賦右、早春賦左、左がお好き下部割愛、やぎ戻しの4本でトップロープクライミングとビレイの練習をしました。昼休憩後にカミナリがなり始めたので全て撤収下山、真ん中の炊事棟でメインロープのセルフビレイ、ロープのたたみ方携行の仕方、ラッペルの注意点などの講習を行ないました。

(指導部 塩田 徹)

### 【感想文】

#### 『第1回 クライミングスクール』

(受講生 佐々木 修)

昨年に引き続き自分にとって2年目となるクライミングスクールがはじまりました。

お天気の関係で講習場所が天応から三倉岳に変更になり、昨年の講習でも利用した見晴らし岩スラブ付

近が初回の講習場所となりました。

装備の確認と安全に関する注意事項の説明があり、基本のロープワークを練習しました。そして、まずは登ってみよう!ということで、トップロープクライミングの実践でした。

自分は早春賦(右)、左がお好き(途中から)、やぎ返しを登らせてもらいました。今回のペアは同じ2年目となる受講生の方だったので、お互いに息の合ったコミュニケーションでクライミングとビレイができたと思います。

昨年の講習と個人練習に参加させてもらっていたおかげで、難しいなと感じる核心部分でも落ち着いて足や手の効く場所を確かめたり、ムーブを考えたりすることができました。とはいって、やはりトップロープの安心感があるので、リードで登ることをしっかり意識して練習を重ねないといけないと感じました。

予報どおり午後からは天気が崩れたので、本降りになる前に下山して、炊事棟にてロープワークの講習を受けました。ロープのまとめ方と携行の仕方、メインロープでセルフビレイをとる方法、ATCの扱い方とラッペルの練習など、昨年習っていたこともあり良い復習となりました。メインロープでセルフビレイをとるやり方などは、カラビナのゲートの左右を変えてみたり、自分の左右の手を変えてみたり、自分が覚えているやり方以外で結び(クローブヒッチ)をやってみました。ちょっとしたことが変わると、あれ?となってしまって試行錯誤しながら練習をしました。実際の現場では支点がどのような状況かわからないので、応用が効きつつ確実にできるように練習をしておくこと

が大切だと感じました。

昨年と比べスタッフの方々の1つ1つのお話やアドバイスがより頭に入ってきやすく理解が深まっていると実感しました。まだまだ身につけるべきことがたくさんありますが、安全に対する意識と基本をしっかりと学び自分のものにして、クライミングを楽しんでいきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

講習中にスタッフの方が見つけられたとても綺麗な水晶のかけらを、「山のお守りにしんちやい」といただいて嬉しかったです。クライミングは上ばかり見ているイメージですが、足もとや周りの自然に目を配ったり感じたりすることも山の楽しさだとあらためて感じさせてもらうことができました。ありがとうございました。

### 『クライミングスクールレポート』

（受講生 柳坪 宏美）

知らない方達の中に知識も技術もゼロの状態で飛び込んでいく。私にとってはドキドキの第1回クライミングスクールでした。午後から雨予報だったため、雨が降る前に少しでも登ろうということで、物凄いスピードで講習が進んでいきます。ハーネスのつけ方すら曖昧で、エイトノットもまともにできない。ビレイはやり方を見るのも初めて。どんどん緊張が増す中で、さあ実践！先生に隣で付き添ってもらって初ビレイをした後は自分も登ってみますが、1歩目に大苦戦。

「ダメ生徒だな」と落ち込んでいましたが、次第に緊張もほぐれて楽しくなってきた頃に雨が降り始め、炊事棟でのロープワーク講習になりました。クローブヒッチ、ラッペルなど聞いたこともない横文字のオンパレードで、話についていくのに必死でしたが、だからこそ得るものが多く大変有意義な講習でした。

今回は講習生14名に対して、先生・スタッフの方が8名ほどいらっしゃいました。これほど多くのスタッフの方にサポートしていただき、大変感謝しています。ある先生からは「危険な遊びをしていることを自覚しないといけない」という言葉を何度もお聞きしました。私のクライミングスクールの参加目的が、「今よ

りもフィールドを広げ、そして安全に楽しく遊ぶための知識と技術を身につけること」だったため、先生の言葉が心に響き、クライミングスクールに参加することにして本当に良かったと思いました。

第1回の講習が終わったばかりですが、予習復習を繰り返すことで1年間で大きく成長できる気がしています。まだまだドキドキワクワクは続きそうです。

（写真提供 塩田）



## 2. 県S C競技会（国体県予選）報告

（元競技部長 錦織 宏美）

広島県スポーツクライミング競技会 2023 が 4/15～16 に府中町のクライムセンター C E R O で開催され、広島県以外の兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県選手を含む 50 名の選手の参加を得て、熱い戦いが繰り広げられました。

成績のほうはホームページに掲載していますが、この競技会は広島県の国体選手選考も兼ねていましたので、下記の各種別上位 2 名を選手、3 位を補欠といったします。

少年女子 選手 佐々木詩華 西原ひなた

補欠 折出ひより

少年男子 選手 香川葉津 延近大和

補欠 猫島栄仁

成年女子 選手 山高友佳里 錦織美里

補欠 大藪杏理奈

成年男子 選手 升田葉 延近陸空斗

補欠 千原悠

国体の中国ブロック予選競技は 7/22～23 に山口県のセミナーパークで開催されます。応援よろしくお願ひします。



（写真及び動画は C E R O のインスタグラムにも掲載中）

### 3. 県民ハイキング再開の予告

（理事長 豊田 和司）

2021年12月5日の宮島を最後に、コロナ禍のため中断していた県民ハイキングを再開します。偶数月の第2日曜日に実施しますが、8月はお盆のため、8月27日とします。

#### 今後の予定

- ・6月11日（日）牛田山
- ・8月27日（日）蓮華寺山
- ・10月8日（日）宮島
- ・12月10日（日）鈴ヶ峰
- ・令和6年2月11日（日）黒滝山・白滝山

再開の第1回目は、「あなたの知らない牛田山」と題して、皆さん、これまで何度か登ったでしょうが、「あなたの（もしかしたら）知らない牛田山の魅力」を紹介します。牛田山には武田氏の家臣、戸坂道海（へさかどうかい）の城がありました。この城は1540年4月、大内氏に攻められ落城。戸坂道海は自刃します。翌年5月、難攻不落と言われた武田城も大内氏の手先、毛利元就によって落城、この時武田氏のプリンスが城を抜け出して太田川対岸の安国寺（不動院）に逃れます。その時、戸坂道海が手引きをしたという伝説が残っています。前年死んだはずの道海がなぜ手引きできたのか？このプリンスが、後に毛利氏の外交僧として活躍する安国寺恵瓊（あんこくじえけい）なのです。5月7日、雨の中、牛田山の下見を実施しました。原民喜の碑、東照宮、仏舎利塔など、見どころも多く、縦走路は緑のトンネルが満喫できます。ご期待下さい。



東照宮



東照宮前の原民喜記念碑。民喜は原爆翌日をここでしのいだ



戸坂道海が、死の翌年、毛利元就に攻められて落城する武田城から、武田のプリンスを導いて太田川対岸の安国寺（不動院）に導いたとする伝説が残っている。なぜそんなことが可能だったのか？



山頂直下の戸坂道海の墓石。破壊されてそのまま放置か



安国寺エケイが逃れて修行した不動院

**4. 寄稿****『高尾山・岩谷観音に岩小屋を作る』**

(福山山岳会 福原 不二雄)

高尾山は広島市東区、府中町境にそびえる424mの山です。その前衛峰の岩峰には聖観音像があり、パワースポットとして人気上昇中です。福山山岳会の会員も山行中に幸運に恵まれると、よくお礼参りに登山します。

岩峰は吹きさらしのため、悪天候の時には休憩できる建物の必要性を感じていました。そんな折、山頂直下の岩場に空間を見つけ、何日もかけて内部の土砂を搔き出し、広さ1畳強くらい、7~8人が収容できる岩小屋ができました。800年以上続いたこの場所に休憩できる岩小屋ができるとは、観音様の恵み以外の何物でもありません。

登山道も整備され歩きやすくなっています。夜景もきれいです。是非一度訪れてみてください。

**5. 岳連短信****1. 寄贈御礼**

4/20 三原山の会『筆影』No. 518（5月号）

4/25 福山山岳会『会報』5月号

広島山岳会『山嶺』第893号（4月）

広島山稜会『峠通信』第766合（5月号）

広島やまびこ会『やまびこ』799

5/1 『中信高校山岳部かわらばん』722

**2. 5~6月の行事予定**

5/20~21 比婆山スカイランコース整備・リハーサル

5/20~21 中国地区自然保護研修会（鳥取県）

5/27~28 登山フェスティバル・比婆山スカイラン

6/3~4 県高校総体登山競技（七国見山・野呂山）

6/4 第21回ひろしま「山の日」県民の集い（坂町他）

6/11 県民ハイキング（第57回、牛田山）

6/25 救急法研修会（東区スポーツセンター、申込は

5/29~6/11、定員40名、連盟会員受講料3500円）

**3. 令和5年度定時総会終了**

5/13（土）にホテルチューリッヒ東方2001で本連盟の今年度定時総会が行われ、昨年度事業報告・決算報告、今年度事業方針・予算案、役員改選のすべての議案が承認されました。詳細については、次号で報告します。

**編集部より**

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。隨時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。